

宍粟産ブルーベリーで楽しむ「ヌン活」 大学生が「アフタヌーンティー」考案

<p>概 要</p>	<p>盛り付けられたスイーツをハーブティーなどと楽しむアフタヌーンティー、通称「ヌン活」。市と商工会、西兵庫信用金庫が連携して行う実践型インターンシップの一環で、宍粟メイプル株式会社へ長期インターン中の大学生が「ヌン活」を通じて宍粟産ブルーベリーの魅力を発信し、地域を盛り上げようと、ブルーベリーをふんだんに使ったオリジナルのアフタヌーンティーセットを考案しました。</p> <p>学生たちは、ブルーベリーの葉を使ったハーブティーやグラス仕立てのスイーツ「ヴェリーヌ」、さらに昨年度のインターン生が開発したブルーベリーフィナンシェなどを盛り込み、見た目も華やかな「映える」セットを完成させました。</p> <p>「ヌン活」をきっかけとして、観光客や地域の人たちが宍粟市で過ごす時間をもっと豊かにしてほしいという想いのこもった商品です。</p> <p>今月 23 日には、国見の森公園で開催される「くにみまつり」会場で学生自らが新商品を提供し、翌 24 日には、新商品を完成させるまでの道のりや宍粟市での成長を振り返る報告会を実施します。</p> <p>実践型インターン概要</p> <p>インターン生</p> <p><small>なかがわ ゆな</small> 中川 優奈（東洋学園大学現代経営学科 1 年）</p> <p><small>たかはし あやこ</small> 高橋 文子（東北芸術工科大学コミュニティデザイン学科 2 年）</p> <p>受入企業 宍粟メイプル株式会社（宍粟市波賀町安賀 8 番地 1）</p> <p>受入期間 8 月 23 日～9 月 24 日</p> <p>取組内容</p> <ul style="list-style-type: none"> ・毎夏集まる 2 トンのブルーベリーを使った商品開発 ・レストラン、宿泊施設など他事業部との連携 など
<p>参考資料</p>	<p>実践型インターンシップ 2025（学生作成資料）</p>
<p>問合せ先</p>	<p>所属 商工観光課 TEL 0790-63-3127</p>

兵庫県宍粟市

宍粟市実践型インターン 2025 夏

東洋学園大学現代経営学部 1年 中川 優奈
東北芸術工科大学デザイン工学部 2年 高橋 文子

波賀町の特産品であるブルーベリーを使った新商品・サービスの開発で道の駅と地域を盛り上げたい！という思いから、波賀町で地元特産品の製造・販売業、地域振興を行っている「宍粟メイプル株式会社」で、埼玉県と山形県から 1 名ずつ、1 ヶ月のインターンシップに挑戦しています。

初めて訪れる場所で、初めて会う人たちと仕事をするにあたっては「今までに経験したことのないような体験を通して自分を見つめ直し、成長していきたい」(中川)、「1 ヶ月間地域に没頭して、大学で学んでいるまちづくりを活かして貢献したい」(高橋)というそれぞれの強い思いがありました。

今回は、道の駅に毎夏集まる 2 トンのブルーベリーを使った新商品の開発や SNS 広報、昨年インターン生が開発したブルーベリーフィナンシェを通常販売に載せるための計画設計などのミッションを託されました。

他社製品のリサーチだけでなく実際の業務体験なども通じてブルーベリーや会社についての理解を深め、何度も企画を練り直しながら試作・改良を重ねました。



業務体験の様子



ヴェリーヌの試食・販売

社内や地域イベントでの試飲・試食会も開き、ありがたいお言葉をたくさんいただきました。しかし、ときどき自分たちが思い描いていたようにできていないと感じたり、ただただ目の前のことに集中しすぎてしまったりして、方向性を見失うこともありました。

そのようなときに、会社やインターン生同士でよく話し合い、相手の意見を尊重しつつお互いにとって一番大切にしたいと思う軸を正すようにしていたことが、このインターンでより良いものを作ろうとする姿勢につながったのだと思います。

9月23日にはインターン活動の集大成として、「くにみまつり」でのアフタヌーンティーのお披露目とヴェリーヌ販売を行わせていただきます。その後、アフタヌーンティーは宍粟メイプル株式会社が運営する宿泊施設内での提供の実現をめざし、ヴェリーヌは新商品としてレシピを会社に提供することが私たちの最終ゴールになっています。

多くの方々に、インターンでの活動や企業の取り組みを知ってもらえる機会になると思っています。ぜひ、お越しください！

○くにみまつり 2025 出展

日時：2025年9月23日（火・祝）10:00～15:00

場所：兵庫県立国見の森公園（宍粟市山崎町上比地 374）

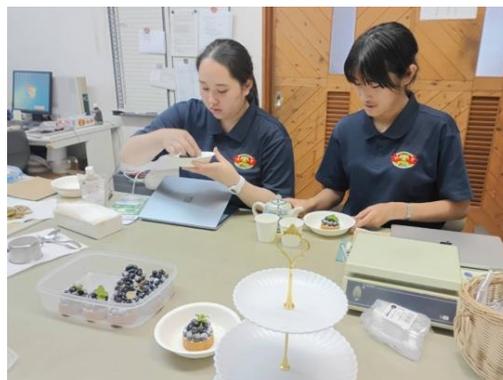
内容：アフタヌーンティーのお披露目、ヴェリーヌ販売

○実践型インターン最終報告会

日時：2025年9月24日（水）9:00～

場所：宍粟市役所（宍粟市山崎町中広瀬 133-6）3F 庁議室

内容：インターン生による成果報告、学びと気づきの発表



提供するスイーツについての打ち合わせ風景



アフタヌーンティーの試作品



ヴェリーヌ

千種地域の新たな移動手段 「ちくさええとこバス」実証運行開始

<p>概 要</p>	<p>小型バスの減便や廃止が検討されている千種地域の新たな移動手段とする「ちくさええとこバス」の実証運行が、9月26日から始まります。</p> <p>このバスは、予約型の乗合交通で、実証運行開始から約1か月後の10月中旬からは、AI運行システムを導入し、利用者の利便性を高めていく予定です。</p> <p>千種地域では、地域運営組織「ちくさええとこ協議会」が令和7年度の重点取組の一つとして、昨年度末より新たな移動手段の仕組みづくりを進める中で、国の「交通空白」解消緊急対策事業補助金を活用した実証運行計画についての検討を行ってきました。</p> <p>先般、同補助金への応募を行ったところ、事業採択を受け、その後、事業内容を精査し、同補助金の申請を行っています。</p> <p>なお、実証運行の開始にあわせ、次のとおりオープニングセレモニーが開催されます。</p> <p>ちくさええとこバス実証運行オープニングセレモニー 日 時 9月26日（金）10時～ 場 所 ライブリーちくさ（千種市民協働センター）駐車場 内 容 テープカット、車両3台の出発式 問合せ先 ちくさええとこ協議会（ちくさええとこセンター内） 千種地区コミュニティ支援員 切山、小野、大庭（TEL 0790-71-0230）</p>
<p>参考資料</p>	<p>ちくさええとこバスチラシ</p>
<p>問合せ先</p>	<p>所属 千種まちづくり推進課 TEL 0790-76-2210</p>

兵庫県宍粟市



ええとこバス

月 火 木 金

運行

実証運行を実施します!!

実証運行期間

2025年9月26日

2026年1月31日

○ええとこバスとは？

利用者の希望する目的地と到着時間を、AI運行システムにより計算し、複数の方が乗り合わせて目的地までお車でお送りする＜予約型の乗り合い交通＞です。

ええとこバスを利用するには、事前登録が必要です

※10月中旬頃～、予約システムを導入予定です。

利用方法

手順1 電話で予約する！

希望日の1週間前から前日の16時までに予約。
帰りの時間が分かる場合は、同時に予約します。

手順2 確認の電話を受ける！

予約を締め切った後、確定時間などをお知らせします。

手順3 迎えの車両に乗車して移動！

予定時間に自宅（又は指定場所）まで迎えに行きます。

手順4 目的地に到着！

※道路事情により、到着時間が前後することがあります。

お伝えいただくこと

- ①お名前と電話番号
- ②利用希望日と時間帯
- ③乗車・降車の場所
- ④複数の場合は人数

○月○日○時頃
に○○にお迎え
に行きます。



運行時間（乗車できる時間）：8時～17時 ・ 運行エリア：千種町内

ご注意

運休日：水・土・日・祝日・年末年始（12月29日～1月3日）

- ・予約が重なった場合は、他の利用者との乗り合いになります。
- ・未就学児のみで乗車することはできません。必ず保護者同伴をお願いします。
- ・運転者による介助はできません。（乗降車時などの一時的な補助は可能）
- ・予約がいっぱいの場合、お断りしたり、時間を変更していただく場合があります。
- ・予約変更やキャンセルされる場合は、予定時間の1時間前までに必ずご連絡ください。
- ・事前にご案内した配車時間を過ぎると、車両は発車しますので、ご注意ください。
- ・お買い物や通院、バスへの乗り継ぎ、お子様の習い事の送迎など、色んな用途にご利用いただけます。

☆9月26日(金)10時、ライプリーちくさで『運行セレモニー』を開催☆

予約電話番号 0790-76-2500

(予約受付時間：9時～16時／ちくさの郷 担当：山田)

ドライバー募集(9月30日締切) ☆ちくさええとこセンター ☎0790-71-0230

教えて!! ええとこバス



実証運行期間

2025年9月26日



2026年1月31日

Q:事業はどこが行うのですか？

A:「ちくさええとこ協議会」です。

Q:運転は誰がするのですか？

A:ちくさええとこ協議会の委託を受けて、「ちくさの郷」の運転手が行う予定です。

Q:なぜ実証運行を始めるのですか？

A:今の小型バスの減便や廃止が検討されているためです。
(2026年4月までに)

Q:どんな車が走るのですか？

A:自動車3台(4・7・10人乗り)が、事前に予約を受けて乗り合いタクシーの方式で走ります。

Q:どこを走るのですか？

A:千種町内全域です。主に各地域と、まちの中心部の移動手段として使っていただくことを想定しています。

Q:だれでも利用できるのですか？

A:車イスが必要な方・介助が必要な方は、ご利用になれません。
(福祉輸送サービスをご利用ください)一人で乗り降りが困難な方は、付き添いの方の同乗をお願いします。(ペット不可)

Q:料金はいるのですか？

A:実証運行中(2025年9月26日~2026年1月31日)は無料です。
本格運行に移行後は、有料となります。(料金未定)

Q:運行日と運行時間は？

A:月・火・木・金曜日の概ね8時~17時です。

Q:予約はいつまでに、どこにするのですか？

A:利用したい日の前日(16時)までに電話で予約してください。
『ちくさの郷』☎0790-76-2500まで。なお、予約時には、利用される方の住所・氏名・電話番号・人数・利用したい日時・乗降場所・大きな荷物の有無などをお伝えください。



3 すべての人に
健康と福祉を



10 人や国の不平等
をなくそう



市制20周年

宍粟

笑顔あふれる未来へ共に
しろう

2025

第5回

森の

パラスポーツ



アウルちゃん
森のパラスポーツフェス
マスコットキャラクター



ポッチャの
応募→

障がいの有無・団体・個人・年齢など
関係なく自由に参加できます

宍粟市障がい福祉課
TEL 0790-63-3101
Fax 0790-63-3062

昼食を用意
しています!

★メイン種目★
ポッチャ

★体験ブース★
ロポッチャ®・卓球バレー
他お楽しみ

日時

10月25日(土曜日)

10:00~16:00

場所

スポニックパークいちのみや(体育館) エレベーターあり
sponicpark Ichinomiya 車いす対応

〒671-4132 兵庫県宍粟市一宮町東市場1090-3

TEL 0790-72-1331

主催 森のパラスポ実行委員会

共催 宍粟市

後援 神戸新聞

協力団体

ひょうごパラスポーツ指導者協議会
神戸医療未来大学/姫路大学/伊和高等学校
NPO法人ピアサポートひまわりの家
姫路レスキューの会/有限会社 太陽



★メイン種目★ ボッチャ (ロボッチャ® 体験ブース)

★ロボッチャ®とは？

『だれもが楽しめる』『みんなで楽しめる』
パラスポーツ×テクノロジー

ロボット
(Robot)

+ ボッチャ
(Boccia)



ロボッチャ
(Roboccia)

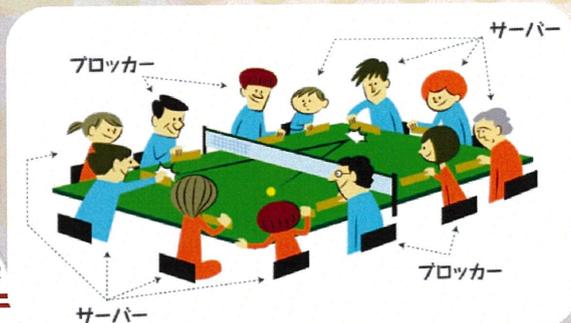


ロボッチャ®のルールはボッチャを元に行っているため、パラスポーツとしてのボッチャを知り、チームワークで戦略を考えながら目標に向かって試行錯誤することの楽しさを体感できます。

「試合に勝つ」という明確な目標があるからこそ、子どもたちの自発的な活動を引き出し、自然なコミュニケーションや試行錯誤の中で楽しみながら、創造力や思考力、問題解決力、科学的な視点を育むことができるプログラムです。

♡体験ブース♡

★卓球バレー の基本ルール



1チームは6人で構成され、6対6で競技します。台上にネットを取り付けた卓球台を使用します。全員が椅子に座ってプレーします。

基本は卓球と同じで、木製のラケットを使用し、金属が入った音の鳴るボールを使います。卓球台からボールが落ちるか、3打以内に返球できなければ相手の得点になります。

♡体験ブースのみの参加も受け付けています

ボランティア募集

協賛、実行委員のスタッフは
随時募集しておりますので、
興味のある方はまずは
ご連絡お願い
いたします。

問い合わせ先(片山) ▶▶▶ [TEL]0790-62-5768

[MAIL]k_kata_yama_k@yahoo.co.jp

協 賛

エヌ・ケイ・ケイ株式会社

上林建設株式会社

株式会社 坂上クリーンサービス

SOCCKER SHOP SAVE / 有限会社丸福物流サービス

関西環境科学株式会社 / イトーオフィスサービス株式会社

ハリマ農業協同組合 / 株式会社 大久保製作所

株式会社 古岡商会

宍粟の稲わらと大豆で伝統の味をつくる
 わらづと
藁苞納豆づくり発酵教室



<p>概要</p>	<p>宍粟市産の稲わらと大豆を使った「^{わらづと}藁苞納豆をつくる発酵教室」を開催します。昔ながらの製法で、特別な納豆づくりに挑戦します。</p> <p>講師は神戸大学名誉教授で農学博士の保田茂さん。わらで大豆を包む方法と、刻んだわらを容器に入れてつくる2種類の方法で作るほか、納豆ができる発酵の仕組みについても学びます。</p> <p>この発酵教室を通じて、発酵食の魅力や発酵文化を身近に感じてもらうとともに、発酵によるまちづくりの推進につなげます。</p> <p>日時 11月15日（土）13時30分～15時30分 会場 生涯学習センター学遊館（山崎町東下野18） 対象 市内在住の人 ※小学生以下は保護者同伴</p> <p>参加料 500円 定員 20名（申込者多数の場合は抽選） 申込方法 市公式サイトからアクセスできる専用フォームから申し込み 申込期限 11月4日 主催 宍粟市発酵のまちづくり推進協議会（事務局：秘書政策課） その他 当日取材いただける場合は、秘書政策課までご連絡ください。</p>
<p>参考資料</p>	<p>藁苞納豆をつくる発酵教室ちらし</p>
<p>問合せ先</p>	<p>所属 秘書政策課 TEL 0790-63-3139</p>

兵庫県宍粟市





わらづとなつとう

藁苞納豆をつくる

発酵教室

2025.

11/15 (土)

PM 1:30-3:30

会場:学遊館

(山崎町東下野18)

参加費

500円



やすだ しげる

講師 保田 茂 先生

(神戸大学名誉教授)



申込み

11.4 (火)

まで

※定員20名市内在住の人、
(小学生以下は保護者同伴)
申込多数の場合は抽選

ゆでた大豆をわらで包み、自宅で発酵させます。保温用の発泡スチロールの箱や保温バックなどをご用意ください。

専用フォームからお申し込みください ▶



主催：六粟市発酵のまちづくり推進協議会

問い合わせ：六粟市役所 秘書政策課 TEL. 0790-63-3139

幼児期教育の在り方の理解深める しそ教育創造フォーラム開催

<p>概要</p>	<p>子どもの豊かな学びと確かな育ちを培うため、「第4回しそ教育創造フォーラム 2025」を開催します。</p> <p>子どもたちが自発的かつ能動的に環境に関わりながら、さまざまな能力や態度を身に着ける取り組みを行う市内の幼児教育施設の事例をもとに、「環境を通して行う教育」の在り方について議論を深め、宍粟の幼児教育の一層の充実につなげます。</p> <p>日時 令和7年10月25日（土）13時20分～16時20分 場所 宍粟防災センター（宍粟市山崎町鹿沢 65-3） 対象 幼児教育施設への入所を希望する子どもの保護者、幼児教育関係者など、どなたでも参加いただけます</p> <p>内容</p> <ul style="list-style-type: none"> ・第1部 宍粟市の幼児教育施設の取組紹介 「3歳児からの幼児教育～遊びは学び、学びは遊び～」をテーマに市内6つの幼児教育施設の実践事例を紹介します。 ・第2部 パネルディスカッション 5人のパネラーが「幼児の豊かな学びと確かな育ちを培う幼児教育の重要性」をテーマに議論します。 <p>申込方法 右の二次元コードからアクセスできる専用フォームで申し込み</p> <p>申込期限 10月10日（金）</p> 
<p>参考資料</p>	<p>「第4回しそ教育創造フォーラム 2025」チラシ</p>
<p>問合せ先</p>	<p>所属 こども未来課 Tel 0790-63-3114</p>

兵庫県宍粟市



第4回しそ教育創造フォーラム2025

幼児期の教育が生涯にわたる人格形成の基礎を培う重要なものであることや子どもの発達や学びが連続していることを踏まえ、幼児教育施設においては、すべての子どもが格差なく質の高い教育を享受でき、その後の学びへと接続できるよう、幼児期及び幼保小接続期の教育の充実を図ることが重要となっています。また、国に設置された「今後の幼児教育の在り方に関する有識者検討会報告」(R6.10月)では、ややもすると社会においては、幼児教育施設はただ遊ばせているだけとの誤解もあることから、幼児期の発達の特性やふさわしい教育の在り方について、妊娠期や子どもが乳幼児期の方々や保護者等に啓発を行うことが大切とされています。

そこで、教育・保育関係者はもとより広く市民の方々を対象に「幼児教育に関するフォーラム」を開催し、第1部では、幼児教育施設の実践事例をもとに、幼児が自発的・能動的に環境に関わりながら様々な能力や態度を身に付けている日々の教育活動を共有すると共に、第2部では、幼児が主体性を発揮しながら遊びや生活を展開し、発達を促し、豊かな学びと確かな育ちを培うため意図的・計画的な「環境を通して行う教育」の在り方等について議論を深め、今後の宍粟の幼児教育の一層の充実につなげたいと考えました。

さらに、子どもの資質・能力や学びの連続性を確保するための幼児教育と小学校教育との連携について、実施上の課題や成果を明らかにすることで、本市の幼児教育施設と小学校との接続に関する取組に生かしたいと考えます。多くの皆様のご参加をよろしくお願い申し上げます。

と き：令和7年10月25日（土）
13時20分～16時20分

ところ：宍粟防災センター

こちらからお申込ください
【10月10日まで】



<開 会> 趣旨説明 <13:20～13:25>

<第1部> 宍粟市の幼児教育施設の実践事例紹介 <13:30～14:40>

<テーマ> 「3歳児からの幼児教育 ～ 遊びは学び、学びは遊び ～」

- ・宍粟市立：◆河東幼稚園 ◆波賀幼稚園 ◆戸原こども園
- ・社会福祉法人：◆くりのみこども園 ◆宍粟わかば ◆ちくさ杉の子こども園

<第2部> パネルディスカッション <14:50～16:20>

<テーマ> 「幼児の豊かな学びと確かな育ちを培う幼児教育の重要性」

- <パネラー>
- | | |
|-------|-----------------------|
| 大西 眞弓 | 神戸女子短期大学教授幼児教育学科教授 |
| 田中 孝尚 | 神戸大学附属幼稚園長・副園長兼附属小学校長 |
| 安川 夏江 | 宍粟市立 はりま一宮こども園長 |
| 田路 絵美 | 宍粟市立 一宮北こども園主任保育教諭 |
| 片山 暁人 | 宍粟市教育委員会 |

<コーディネーター>

- | | |
|-------|----------|
| 中田 直人 | 宍粟市教育委員会 |
|-------|----------|

参加対象：幼児教育施設への入所を希望される市民、保護者、幼児教育関係者等（100名程度）

※託児の利用があります。（対象児：1歳6ヶ月～就学前）

主催：宍粟市教育委員会